

会議録

会 議 の 名 称	第6回 清須市公共施設個別施設計画（仮称）策定委員会
開 催 日 時	令和2年3月19日（木） 午後2時～3時20分
開 催 場 所	清須市役所 南館3階 大会議室
議 題	1 あいさつ 2 議題 (1) パブリック・コメント等の結果について (2) 次年度以降のスケジュールについて 3 清須市公共施設個別施設計画（案）について 4 その他
会 議 資 料	資料1 パブリック・コメントの結果 資料2 清須市公共施設個別施設計画（案） 資料3 次年度以降のスケジュール （参考） 清須市公共施設市民フォーラム
公 開 ・ 非 公 開 の 別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍 聴 人 の 数 （公開した場合）	0人
出 席 委 員	小松委員（委員長）、後藤委員、飯田委員、富田委員、西川委員、葛谷副市長、斎藤教育長、平子総務部長
欠 席 委 員	なし
事 務 局	〔総務部財政課〕 山下総務部参事、岩田課長、炭竈係長、清本主任、岩田主事
<p>1 あいさつ （岩田課長） 皆様、こんにちは。財政課長の岩田です。 本日は、お忙しいところ、本策定委員会にご出席いただき、ありがとうございます。 この会議は、規定により公開となります。よろしく願いいたします。 それでは、第6回策定委員会を開会いたします。始めに、市を代表し、葛谷副市長から、ご挨拶を申し上げます。</p> <p>（葛谷副市長） 改めまして皆様こんにちは。副市長の葛谷でございます。本日は大変お忙しい中、本策定委員会にご出席いただきありがとうございます。 昨年度から行ってまいりましたこの策定委員会につきましても、本日で6回目となり、最後の委員会となります。 これまでの会議でも話がありましたように、これからの時代は少子化・高齢化から生じる将来の課題を見据えた施設のあり方を考えていかなければなりません。 そのためには、限られた財源を効率よく、かつ効果的に用い、施設の再配置や長寿命化、</p>	

改築等を行っていくことのほかに、適正配置方針に沿って施設整備を進め、一部の施設だけでなく清須市全体を最適化し、市民の利便性を高め、多様なニーズに対応していく必要があります。

このあと事務局から、1月に開催した市民フォーラムとその後実施したパブリック・コメントの結果や次年度以降のスケジュールなどについてご説明させていただきますが、本日の委員会をもちまして本計画の策定を完了し、年度内に公表したいと考えております。

また、次年度以降については、本年10月に財産管理の担当課が新設されることを受け、適正配置の実現に向けこれまで以上に公共施設マネジメントの取組を強化してまいりたいと思います。

最後となりましたが、本日この場にお集まりの皆様には本計画の策定に対し、長期にわたり多大なご協力をいただき感謝申し上げます。本日もよろしくお祈いします。

2 議題

(岩田課長)

それでは、ここからは、小松委員長に会議の取り回しをお願いします。小松委員長、よろしくお祈いします。

(小松委員長)

改めまして、みなさんこんにちは。

会議の取り回しを、ということですので、議題に移りたいと思いますが、本日は、先日実施したパブリック・コメントの結果を中心に事務局から説明いただきたいと思います。

それではお手元の次第をご覧ください。本日は、議題(1)「パブリック・コメント等の結果について」、議題(2)「次年度以降のスケジュールについて」の2つの議題と3清須市公共施設個別施設計画(案)として、当委員会において計画の内容について承認を行いたいと思います。

では、議題(1)から議題(2)について、一括して事務局から説明してください。

【事務局より議題(1)から議題(2)を説明】

(小松委員長)

ただいま事務局から、議題(1)と(2)の説明をしていただきました。

まず議題(1)では、パブリック・コメントの結果についての説明でした。

特定の施設に対する意見や計画全体に対する意見など、多くの意見が提出され、それらの意見に対する市の対応についてご説明いただきました。また、計画書(案)の修正についてもご説明いただきました。

次に議題(2)では、次年度以降に実施する適正配置方針のスケジュールについての説明でした。市役所庁舎を含め、多くの施設で改修等を実施する必要があることが示されています。

これらの説明を踏まえ、議題(1)と議題(2)について何かご意見・ご質問がありましたらお祈いいたします。

(小松委員長)

パブリック・コメントにおいて、保育園と幼稚園の民営化に関する意見が多いが事務局として何か読み取れることはあるか。

(事務局)

パブリック・コメントの結果について、一部で保育園・幼稚園の民営化に反対という意見があったものの、保護者の話の中では、民間の認定こども園は評判が良く、一定の評価をいただいている。今後は、改築等のタイミングにおいて、保育の質の低下を招かないよ

う、市民ニーズ等の総合的な観点から、民営化を検討する必要があると考えている。

(西川委員)

保育園児の保護者の立場として、公立の保育園は最低限の安定した保育が保証されており、民営化に反対というわけではないが、昨今のニュースで良くない事例が見られるように、民営化によって保育の質が低下しないかが心配である。

現在お世話になっている保育士の方々には非常に感謝しており、その分今の保育園への思いが強いため、譲渡後の条件を民間に提示するだけでなく、民営化後の市の関わり方を保護者に丁寧に説明するなど、保育の質が低下しないようなシステムを検討していただきたいと考えている。

(富田委員)

民営化する一番の目的は、財政面ということで良いか。

(事務局)

財政面は目的の中の大きな一つであるが、今後の多様化する保育ニーズ等に対し、総合的な観点から対応する必要があると考える。

(後藤委員)

民営化を行った場合、施設は民間の保有になるのか。

(平子委員)

本計画では、建物も事業も民間にお願いすることを前提として試算しているが、あくまでも1つの手法であり、建物は市で管理し運営を民間に委託する指定管理者制度を含め、目的とする事業がスムーズに達成されるように検討する必要があると考えている。ゆめのもりこども園が公立にない教育を実施し高評価を得ているように、今後も清須市の監督の下で、清須市の目標に沿った運営をお願いしていくつもりである。まずは、清須市としての未来像が大前提であるため、計画についてはその時々の実態に応じて進めていく必要があると考えている。

(富田委員)

民営化した場合、保育士の給料はどこから支払われるのか。

(平子委員)

事業主から支払われることが基本である。その際、収支がマイナスにならないよう保育料を調整することになるが、保育料は市の方針で決められているため、仮に収入が不足する場合でも、市が給付等を行いサポートしていくことになる。

(後藤委員)

民営化した場合、公務員としての保育士はどうなるのか。民営化と民間への委託は異なると思われる。

(葛谷委員)

保育士については、基本的に市から職員を派遣するのではなく、個別の保育事業主が選定することになる。ただし、民間、行政問わず、保育士を対象とした講習会を横断的に実施しており、また保育サービスに関わる最低基準も設けているように、新たな取組みを含めて、保育サービスを安定的に供給できるよう検討しているところである。保育士の給料については、民間から支払われることが基本であるが、国により保育にかかる費用が決められており、補助金ではなく市への交付税として考慮されている。そのため、民営化によ

り給料が変わることはなく、逆に民間の活力を上手く活用すれば、利用者からの声により敏感に対応できるのではないかと考えている。

(飯田委員)

過去の職場での経験上、協力会社へ外部委託することにより、職場の活性化や知識の向上、作業内容の軽量化といった様々な効果が期待できることから、総合的な観点から検討しつつ、これまでの経緯を踏まえて取組んでいただければ良いと考えている。

(小松委員長)

保育園の民営化については、どこの市町村でも話題になるが、コスト削減が最大の目的である一方で、今後多様化する保育サービスに対し、選択肢が広がるといった市民目線でのメリットもあると考えられる。すぐに本計画が実行されるわけではないため、市民は声を上げ、行政はそれを正すといったことを繰り返し実施するなど、如何に広い視野で市が丁寧に対応できるかがポイントになると考えられる。市民税を上げることは簡単に出来ないため、その時々状況に応じて、試行錯誤しながら最善策を検討していく必要があると考えている。

(小松委員長)

清洲児童館の改築時期について、前回の会議から変更になった経緯を教えてください。

(事務局)

清洲児童館は極めて老朽化が著しいため、計画上の耐用年数前ではあるが、改築に向けて、来年度予算に設計費を計上し議会で審議しているところである。予定では、令和3年度に工事を完了し、令和4年度から供用を開始することとしている。

(富田委員)

統合保健センターを新設した場合、その他の保健センターは廃止するのか。

(事務局)

統合保健センターの立地場所をはじめ検討課題は多いが、2028年度までに4つある保健センターを1つに統合できるよう検討するという計画である。

(富田委員)

施設を統合した場合、移動距離が遠くなるなどのサービス低下に繋がるため、循環バスの利活用をはじめとした、きめ細かな検討が必要である。

(事務局)

交通面に加え、保健センターの統合については集団検診から個別検診を基本とするなど、ソフト面を含めて総合的に検討する必要がある。

(平子委員)

本計画は建物の話がメインとなるが、適正配置を具現化するにあたっては、事業のあり方を含めて総合的に検討する必要がある事について、常に念頭に置くよう各部署に指導している次第である。

(葛谷委員)

旧町では今の施設配置が最適であったと思われるが、合併後の新市においては、高齢者が集えるような施設を整備するなど、これまでにない施設を含め、今の社会情勢を踏まえて検討するよう、各職員に指示しているところである。

(富田委員)

魅力がある施設であれば、距離が遠くても利用すると思われるため、利用者目線に立つて事業を進めていただきたいと考えている。

(小松委員長)

将来的には、各施設のロードマップ毎に個別のビジョンがあるため、丁寧な議論をしていくことに尽きられると思われる。

今後は、新たに整備する時代ではなく、人口の減少と合わせて施設を減らしていくといった、これまでに経験がないような公共施設整備が求められるため、時間をかける他に方法はないと考えられる。むしろ本計画では丁寧にスケジュールまで示しているの、透明性は高いと感じている。ロードマップで示した時期までの間、本質的なサービスの提供に向けて、何ができるのか早め早めの検討が可能であり、上手くいけば先進事例にあるような成果に繋がっていくと思われる。逆にそれらの検討ができない自治体においては、時期がきても何も決まらず、そうならないように本計画を活用していただきたい。スケジュールに沿って自動的に事業が進んでいくような内容ではないため、今後具体的に議論を行いながら丁寧に運用していただくことを前提に、本計画の内容についてご理解いただきたい。

3 清須市公共施設個別施設計画（案）について

(小松委員長)

続きまして、計画の承認についてです。

公共施設の再配置に関しては、市長が主体となって進める自治体や数字的根拠を重視する自治体など、それぞれで取組方法が異なりますが、清須市においては理路整然と計画書を取りまとめており透明性が高いと思われます。

本計画が今後どのように浸透していくかは不透明であるが、個別の面と全体の面でバランスがとれており、うまく整理されていると思われます。

本計画の内容について、事務局案を計画とし、当委員会において承認することとしたいと思いますが、異議はございませんでしょうか。

【異議なしの声】

(小松委員長)

ありがとうございます。委員の皆様へ承認いただきましたので、事務局の皆様には今後は計画を公表し、来年度以降、公共施設の適正配置に向けた取組を進めていただきたいと思います。

4 その他

(小松委員長)

続きまして、「その他」ですが、本委員会は2箇年にわたる長い取組でしたので、最後にお一人ずつ、お言葉をいただきたいと思います。これまでの委員会の感想、本計画に基づき適正配置を進めるに当たっての要望、その他も含めて結構でございます。

各委員お一人ずつお願いします。順番は、後藤委員からお話いただいて、西川委員までいきましたら、最後に私からもお伝えしたいと思います。

では、後藤委員をお願いします。

(後藤委員)

この度は策定委員会のメンバーとして、貴重な体験をさせていただいたと感じている。削減目標の達成に執着し過ぎず、行政の放棄と言われないよう、結果として本計画の内容で良かったと思われるように、具体的に進めていただきたい。

(富田委員)

旧4町の合併前に整備された数多くの施設について、横断的な視野で分析し、計画書としてまとめることは大変であったと思われる。なお、問屋記念館や飴茶庵は本計画の対象外と思われるが、老朽化した壁等の修繕をお願いしたいと考えている。

(事務局)

これらの施設は、移築した木造の文化財であるため、長寿命化の観点を含め、専門の部署で別途検討していきたいと考えている。

(飯田委員)

これまではあまり行政に関心がなかったが、本策定委員会に参加し色々と勉強させていただけたことに、非常に光栄に感じている。本計画は上手く取りまとめられているが、実行にあたっては必ず市民の声が上がるため、事業が円滑に進むように丁寧に進めていただきたい。新川体育館を撤去した際には反対もあったが、本計画の内容で良かったという結果になるよう、大変であるとは思いますが頑張ってください。

(西川委員)

本策定委員会を通じて清須市に詳しくなり、楽しく参加させていただいた。特にハード面では分からないことが多い中、分かりやすい説明資料を準備していただき感謝している。人間は今あるものをなくすことに対して抵抗する生き物であるが、わが子達が大人になった時を見据えると削減は必要であるため、計画が円滑に進むことを願っている。保育園には10年お世話になっているが、保育士がゆとりをもって働ける環境を整備することが最も重要であると考えている。子供達が成長した時に、清須市が良い街だと言えるように、今から頑張っていきたいと考えている。

(小松委員長)

公共施設はよくハコモノと言われるが、中身とセットで公共施設であるため、機能的で安全なものとする以外に、今日のニーズや価値観にあったものとする必要がある。本計画はそれに向けたチャンスであると捉えていただきたい。

また、行政は税収が増加している時は出来る事が多くあったが、今後は出来る事が減少していくため、市民サービスの質が低下しないよう、またはそれらを補うために市民から知恵やエネルギーをもらいながら、一緒に取り組んでいくことが重要である。清須市なりの市民協働を是非構築していただきたい。

最後に、長い時間をかけて計画を具現化していくにあたり、どのような時にどのような事を行うのか、プロセスデザインと言われるように、スケジュールを事前にデザインしていただきたい。先進事例を真似ることは難しいため、市民協働を前提とした清須市モデルを是非構築していただきたい。

(小松委員長)

では、以後の進行は、事務局へとお返ししたいと思います。よろしくお願いします。

(炭竈係長)

本日はありがとうございました。

本日承認いただきました清須市公共施設個別施設計画につきましては、今後公表し、来年度以降計画実現に向け、検討を重ねていきたいと思っております。2年にわたり計画策定にご協力いただきありがとうございました。私からは以上です。

(岩田課長)

長時間にわたり、どうもお疲れ様でした。本日、財政課管財係から説明いたしました内

容につきまして、ご不明な点などがございましたら、何なりとお問い合わせいただければ幸いです。以上で、第6回策定委員会を閉会いたします。

本日はお忙しいところご出席いただき、ありがとうございました。また、2年にわたりご協力いただきありがとうございました。